

あなたが支える市民活動応援事業実績報告書

大分市長 佐藤 樹一郎 殿

団体名 「100年の樹」
ブルーライトアップ実行委員会

代表者名 岩川幸造
所在地 大分市大道町2-6-10-201
電話 090-4350-1711



あなたが支える市民活動応援事業補助金交付要綱第13条の規定により、下記のとおり報告します。

記

- | | |
|----------------|--------------------------------------|
| 1. 交付決定年月日 | 令和4年9月1日 |
| 交付決定番号 | 協働第850号 |
| 2. 事業名 | <u>Light It Up Blue@「100年の樹」2022</u> |
| 3. 補助金の交付決定通知額 | <u>¥300,000 円</u> |
| 4. 補助金の概算交付額 | <u>円</u> |
| 5. 補助金の精算額 | <u>¥300,000 円</u> |
| 6. 事業の成果 | |

啓発デーや啓発週間が存在している認識を多くの市民に気づいて貰える機会になった。

市民の方から発達障害をお持ちの方への共感を頂き、他者を理解する意識に貢献出来た。

発達障がい有する方の家族に援助団体を紹介し、活動に対しお礼を頂けた。

7. 添付書類
- (1)あなたが支える市民活動応援事業補助金申請事業報告書
 - (2)あなたが支える市民活動応援事業補助金申請事業収支決算書
 - (3)活動目標に関する報告書
 - (4)その他市長が必要と認める書類

(この内容は、大分市のホームページ等で公表いたします。)



あなたが支える市民活動応援事業補助金申請事業報告書

団体名	「100年の樹」ブルーライトアップ実行委員会			
事業名	Light It Up Blue@「100年の樹」2022			
主な活動地域	<p>※ 該当する□にチェックしてください。【】の中は校区となっています。</p> <p><input type="checkbox"/> 大分中央【金池、荷揚、長浜、中島、住吉】</p> <p><input type="checkbox"/> 大分西部【春日、大道、西の台、八幡】</p> <p><input type="checkbox"/> 南大分【豊府、南大分、城南、荏隈】</p> <p><input type="checkbox"/> 滝尾【滝尾】</p> <p><input type="checkbox"/> 城東・原川【津留、東大分、日岡、桃園】</p> <p><input type="checkbox"/> 明野【明野】</p> <p><input type="checkbox"/> 鶴崎【鶴崎、三佐、別保、明治、高田、松岡、川添】</p> <p><input type="checkbox"/> 大南【戸次、判田、竹中、吉野】</p> <p><input type="checkbox"/> 植田【植田、宗方、横瀬、東植田、寒田、敷戸、駕野、賀来】</p> <p><input type="checkbox"/> 大在【大在西、大在】</p> <p><input type="checkbox"/> 坂ノ市【坂ノ市、小佐井、丹生】</p> <p><input type="checkbox"/> 佐賀関【本神崎、木佐上、大志生木、佐賀関、一尺屋】</p> <p><input type="checkbox"/> 野津原【東部、中部、西部、今市】</p> <p><input checked="" type="checkbox"/> 市内全域</p>			
<p>実施時期 実施場所 実施内容 (目的・経過等)</p> <p>※別紙添付可</p>	<p>時期 (月)</p>	<p>実施場所</p>	<p>受益 対象者数</p>	<p>実施内容 ※目的・経過等をできるだけ詳細に</p>
	<p>4月 2日 ～ 4月 8日</p>	<p>大分市い こいの 道広場 及び J:COM ホルト ホール ・エ ントラ ンスホ ール</p>	<p>入場者延 2,000名</p>	<p>・世界172カ国、日本でも全国20箇所以上で行われている『世界自閉症啓発デー(4月2日)』や『発達障害啓発週間(4月2日～8日)』にランドマークや名所旧跡をブルーにライトアップする取り組み『ライト・イット・アップ・ブルー』を、大分市の中心部にある大分いこいの道広場の「100年の樹」で行い、ホール等周辺地域で自閉症や発達障害に関わる様々な催し物を行う。</p> <p>・世界自閉症啓発デー(4月2日)・発達障害啓発週間(4月2日～8日)に大分駅上野の森口に有る、大分いこいの道広場「100年の樹」の周辺に啓発の為の看板を設置し、夜間ブルーにライトアップする。</p> <p>・啓発活動の一環として、自閉症児・者の就労や日常の写真展示並びに自閉症児・者の作家の関連商品の販売を J:COM ホルトホールのロビー・エントランスホールにて行う。</p> <p>・YouTubeなどで講演の配信を行い、表に見えない障がいの発達障がいの存在を市民に知らせる事が出来た。</p>

<p>使用した 広報手段と その効果</p>	<p>使用した広報手段（チラシの作成、ホームページ、パンフレットの作成等）</p> <p>チラシの作成、ホームページ作製 メディアへの出演</p> <p>今年度行った広報の効果</p> <p>全てに効果があった。多くの方に伝える事が出来た。</p>
<p>事業の成果</p>	<p>地域への効果について</p> <p>事業の広報活動を通じて「世界自閉症啓発デー」がある事を知っていただく機会を設けられた事、また自閉症に限らず啓発デーや啓発週間が存在している認識を多くの市民に気づいて貰える機会になった。</p> <p>催し物の開催期間に於いては、自閉症をはじめとする発達障がいをお持ちの方達の作品を通して市民の方に感じて頂き、共感を得る事が出来た。</p> <p>市民への効果について</p> <p>「あなたが支える市民活動応援事業」の資金援助を通じて大分市の取り組みを紹介しながら、市民活動の大切さと自閉症をはじめとする発達障害の理解を深める事が出来た。</p> <p>傍目には分かりにくい発達障がいを伝える手段としてライトアップが効果的に作用する事を知らせる事が出来た。</p>
<p>来年度に 向けた課題</p>	<p>今後は広報方法の再考の必要あり。 TV放送を見ての来場者が多数見込めるので、早期より積極的に働きかけ、早めに取り上げてもらうよう依頼する。</p> <p>横断幕の設置を検討する</p> <p>10代・20代の若い層への広報強化の必要を検討する。 今後、発達障がいの方を支援していただける方の人材育成を考えた場合、若い層への働きかけが必須に思われる。10代・20代の若い層への広報強化の必要を検討する。10代においては、チラシ・ケーブルテレビ・Facebookで情報を知り得た人は少なく学校や行政機関を通じてアプローチする。</p> <p>集客に繋がるイベントを開催し、多くの方に興味関心を持ってもらい、発達障がい困っている事の解決につなげる様にする。</p>

あなたが支える市民活動応援事業補助金申請事業収支決算書

事業の名称： Light It Up Blue@「100年の樹」2022

1 【収 入】

(単位：円)

項 目	金 額	説 明 (積算等)
補助金収入	300,000	あなたが支える市民活動応援事業補助金
会費収入		
事業収入		
寄附金収入	98,478	
そ の 他	320,000	大分県共同募金会
合 計	718,478	

2 【支 出】

(単位：円)

項 目	金 額	説 明 (積算等)
報 償 費		
旅 費	15,00	駐車場代
消耗品費	330	ミニイーゼル (対象外 110 円)
燃 料 費		
食 糧 費		
印刷製本費		
通信運搬費	168	切手
広 告 料	33,770	チラシ印刷等 (対象外 13,585 円)
保 険 料	47,720	イベント保険
手数料・委託費	622,890	モニュメントライトアップ照明音響/パネル展示作品作成費/ホール案内・アンケート集計 (対象外 65,890 円)
使用料・賃借料		
原 材 料 費	12,100	Tシャツ作成費
備品購入費		
合 計	718,478	【補助対象経費 638,893】

備考 補助金の交付対象となる事業に要する経費を記入してください。

なお、実績報告書の提出時に収支決算書とともに領収書を添付する必要があります。

活動目標報告書

1 自己収益（※）拡大に向けて

(1) 目標としていた自己収益金の総額 円

(2) 今年度の自己収益金の総額 円

(3) 自己収益拡大に向けた具体的な取り組み
(目標を達成できなかった場合は、その理由と改善策)

協賛各社への理解協力を求めるために、面談の時間が未だ未だ必要だが、申請による事務仕事が多く有る為に、現状では宣伝に回る時間が取れない。地道にはあるが、会員理解者を増やし、来年度も企業への呼び掛けを継続し、またSNSを充実させ協力を呼び掛ける。

記入例：①会員加入の呼び掛けを行った結果、入会者の獲得に成功し、会費収入を増加させることができた。

②協賛企業の呼び掛けをこれまで以上に実施してきたが、景気の流れに左右されることもあり、新規開拓はできなかった。

③来年度も企業への呼び掛けを継続し、企業協賛金の拡大に努めていきたい。 など

2 受益対象者を増加させるための取り組み

(1) 目標としていた受益対象者数 人 (延べ人数)

(2) 今年度の受益対象者数 人 (延べ人数)

(3) 受益対象者数の増加に向けた具体的な取り組み
(目標を達成できなかった場合は、その理由と改善策)

公式LINEやSNSでの伝達やホームページの充実。講演会・研修会などのアピールをする。